



▲猪瀬代表取締役社長



日興ビジネスシステムズ株式会社
代表取締役社長

猪瀬 真哉

ウェルビーイングの精神のもと 健康を大切に成長を続けてほしい

日興ビジネスシステムズ（NBS）は、1988年にSMBC日興証券株式会社の証券事務業務を担うグループ会社として設立され、2018年には「業界 No.1 の証券事務サービス会社」を目指すことを長期ビジョンとして掲げています。

より質の高いサービスの提供を目指す当社の社長を務める猪瀬さんに、ご自身の健康のこと、ウェルビーイングのこと、そして社員の皆さんへの思いなどについて伺いました。

インタビュー日 令和6年2月7日

——猪瀬社長は健康管理方法に「よく笑うこと」を挙げていらっしゃいます。笑うことと健康について、お考えになっていることを教えてください。

私は日興証券の人事部に在籍していた頃から、健康が何より一番大事で、家族・友人が2番、仕事が3番目、迷ったらぜひこの順番で考えてくださいと伝えてきました。健康は、何よりかけがえのない大事なもので、健康なくして仕事はないし、家族・友人もないという意識を常に持っています。

「よく笑うこと」についてですが、人は笑うと脳が刺激を受けて心身ともにリラックスしたり、自律神経のバランスが整って脳が活性化したり、免疫力がアップするなどの効果があると言われています。最近では、笑うことは心身にとって非常にいいことであると、医学的にも実証されていると聞いています。

また、私は「笑う門には福来る」という言葉が大好きです。笑うことで周りに心理的な安全性を生み、バリアがなくなると、コミュニケーションが活性化する効果があるんじゃないかと思っています。コミュニケーションが活性化すると、人と人との間に気づきが生まれ、アイデアが生まれ、結果として自分にも幸せが返ってくる。厳しい顔をしている人に

は話しかけづらいということを含めても、笑うことは大事だと思いますし、さらに笑いは伝播して、周囲の人も幸せにするところもいいと思っています。

私はNBSに社長として就任した時に、「NBSを笑顔が、ありがとうが溢れる会社にしたい」と宣言しておりまして、現在、絶賛実践中です。

——お話を伺うと、御社は猪瀬社長と社員の皆さんの距離がとても近いように感じられます。

私は社員との距離が近いことは、とても大事なことだと思っています。今の時代は、社長がすべてトップダウンで物事を動かしていくというやり方は難しくなってきました。世の中の変化が激しくなり、先が見通せなくなっている近年、何がより大事になってくるかという、現場です。現場で起こっていること、現場で感じていることが、形、声として現れて改善されていくことが重要なのですが、その時に、私を含めた経営陣と社員との距離が遠いと、課題の解決や改善策を講じるスピードが遅くなったり、声を上げにくいことで不祥事を未然に防止できなかったりします。そのため、社長になった時に私が一番大事にしようと思ったのが、現場であり社員との距離でした。

その一環として、私という人間をわかってもらうために、「いっしょに、明日のこと。」通信というサイトを開設しました。1カ月に1回、私が考えていることや、家族のこと、趣味のことなど、プライベートも含めてアップしています。社員の皆さんから「いつも楽しみにしています」「こんなテーマで書いてくれないか」などと声をかけてもらえると、本当にうれしいですね。

——「いっしょに、明日のこと。」通信は猪瀬社長ならではのユニークな取り組みですね。その中で、ウェルビーイングについても発信されていると伺いました。

ウェルビーイングは、厚生労働省において「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念」であるとされています。また、瞬間的な幸せを表す「ハピネス」とは異なり、持続的な幸せを意味するともいわれ、そういう意味でもウェルビーイングは大切な概念だと思っています。

「いっしょに、明日のこと。」通信では、今なぜウェルビーイングが大切なのか、企業の中におけるウェルビーイング、つまり幸せとは何なのか、ウェルビーイングの状態になるにはどうすればいいのかなどについて紹介しました。ウェルビーイングな状態になっていくためには「幸せの4カ条」というものがあり、「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのままに」の4つを推進していくことが大切です。この4つの魔法の言葉の良いところは、個人が行動する時の心構えや取組む姿勢を表し、それぞれが自身でコントロールできるものであることです。

先日も、当社が誇る各部署の長期ビジョンアンバサダーが主催する全社員参加のボトムアップ活動「長期ビジョンミーティング」があり、「働きがい」をテーマに真摯に話し合いが行われたのですが、その際にウェルビーイングの4つの取組姿勢で話し合いを進めていこうということになりました。社員の皆さんも4つの言葉に馴染んできていて、社内にウェルビーイングが浸透しつつあると感じています。

——御社の長期ビジョンについて、お聞かせください。

当社は、長期ビジョンとして、「業界 No.1 の証券事務サービス会社」を目指すことを掲げ、事務品質・お客様満足度・従業員満足度の3つで業界 No.1 を目指しています。現在、5年後の姿を描いて見直し中ですが、変更のポイントとして、他社との比較対象である業界 No.1 を自分たちで目標を設定できる「最高水準」に改め、従業員満足度を「従業員エンゲージメント」に変更し、私たちが大事にする「NBS Pride. を高く持ち」を組み入れるべく、進めているところです。

少し余談になりますが、私が当社に着任して感じていることは、NBSは社員の皆さんがとっても素晴らしい、非常にいい会社であるということです。社員の皆さんに「NBSってどんな会社？」と聞くと、「人にやさしい会社」という言葉がキーワードとして出てきます。やさしさというのは、人との関係性で幸せにとって非常に大事な要素なので、こういう言葉が出てくることをうれしく誇りに思います。また、当社は女性社員が多く、

現業部門でも本社部門でも、女性が活躍している会社です。そういう意味では、女性の皆さんがライフイベントを経験しながら成長でき、働きがいのある働きやすい会社であることが、経営にとってとても重要だと思っています。

——昨年、健保組合で開催したウォーキングイベント「歩fes.」には、御社から多くの皆さんにご参加いただきました。

「歩fes.」には、NBSで個人参加も含めて130名くらいの社員が参加いたしました。SMB C日興証券グループの中でベスト10の中に2チーム入るという活躍もあったほか、毎日必ず2万歩以上歩いたというレジェンドも出現しました。当社のイントラに感想が掲載されているのですが、「参加して良かった」「歩くことが楽しくなった」というものに次いで、「他の部署など、職場の人と話す機会が増えた」という感想が多く見られました。これは、職場で声掛けが行われて、部署を横断したチームが編成されるなどしたため、健康づくりだけでなく、社内のコミュニケーションの活性化にも大いにプラスになりました。ウェルビーイングにとっても、とてもいい企画だったので、またぜひお願いしたいと思います。

——ありがとうございます。最後に、今後社員の皆さんの健康のために取り組んでいきたいことなどについて、教えてください。

再びウェルビーイングの話になりますが、私の中で健康と同等に大事なものの、あるいは健康の先にあるものが幸せだと思っています。そして、ウェルビーイングの精神は、社員個人の成長と会社の持続的な成長の双方をかなえる重要な概念ではないかと思っています。会社というひとつの組織の中で、社員が健康で、学んで、つながって、成長し続ける、そういうキャリアを積んでいけるウェルビーイングな状態に会社が近づいていけるように、引き続き、経営として尽力してまいります。

先日の長期ビジョンミーティングで、社員の皆さんから、働きがいを感じるのとはどんな時かについての共通するキーワードとして、「感謝」「コミュニケーション」「助け合い」「成長」「目標達成」などが出てきました。社員一人ひとりのやりがいが増してウェルビーイングが向上し、社員と会社とのエンゲージメントが高まって事務サービスの品質が向上、そしてお客様に満足していただく。そしてお客様の感謝が社員に返ってきて、やりがいが増しウェルビーイングにつながり、エンゲージメントが高まる。こういう好循環をしっかりとつくっていくために、来年度の事業計画を策定中です。

最後になりますが、私が幸せを考える時に思い浮かぶのは、サン・テグジュペリの「星の王子さま」です。キツネと王子さまの会話の中の、有名なセリフをひとつご紹介いたします。「キミが夜空にまたたく星を見る時、ボクがそれらの星のうちのひとつに住んでいて、そこで笑っているから、キミには、全部の星が笑っているように見えるはずだよ。つまり、キミにとって、星っていうのは、何よりもまず、笑う存在だということになるんだ」

ワクワクする明るい未来を目指し、今年も笑顔でいきます。——猪瀬社長、本日はありがとうございました。